



少年の移動と「ストリート・チルドレン」
—ブルキナファソ ワガドゥグの事例から—

Movement of Children and “Street Children”:
A Case study in Ouagadougou, Burkina Faso

清水 貴夫 Takao Shimizu

人間圏の探求シリーズ 9

Kyoto Working Papers on Area Studies No.99
(G-COE Series 97)

June 2010

このグローバル COE ワーキングペーパーシリーズは、下記 G-COE ウェブサイトで閲覧する事が出来ます
(Japanese webpage)

http://www.humanosphere.cseas.kyoto-u.ac.jp/staticpages/index.php/working_papers

(English webpage)

http://www.humanosphere.cseas.kyoto-u.ac.jp/en/staticpages/index.php/working_papers_en

©2010

〒606-8501

京都市左京区吉田下阿達町 46

京都大学東南アジア研究所

無断複写・複製・転載を禁ず

論文の中で示された内容や意見は、著者個人のものであり、
東南アジア研究所の見解を示すものではありません。

このワーキングペーパーは、JSPS グローバル COE プログラム (E-4) :
生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点 の援助によって出版されたものです。

少年の移動と「ストリート・チルドレン」
—ブルキナファソ ワガドゥグの事例から—
Movement of Children and “Street Children”:
A Case study in Ouagadougou, Burkina Faso

清水 貴夫

人間圏の探求シリーズ 9

Kyoto Working Papers on Area Studies No.99
JSPS Global COE Program Series 97
In Search of Sustainable Humansphere in Asia and Africa

June 2010

少年の移動と「ストリート・チルドレン」

ブルキナファソ ワガドゥグの事例から *

清水 貴夫**

Movement of Children and “Street Children”:

A Case study in Ouagadougou, Burkina Faso

Takao Shimizu

This paper examines how “street children” are arrived in the “street” and Ouagadougou city. “Street children” are usually recognized that they are subordinate children, they were in poverty family and they have serious problems on their family. For these reasons, children abandoned their home and traveled to “Street” and sometimes they across the border. NGOs already organized international network within Francophone West Africa for dealing with children’s international traffics. In this way, movements of children are more widespread and more strange than we imagine.

According to case study of three “Street Children” in Ouagadougou, they show us that the reason why they run away to city is not only their difficulty, but the reason of their aimless trip as we call “Tembea” in Swahili world.

1. はじめに

「ストリート・チルドレン」はアフリカの都市の「社会問題」の代表的なものとして捉えられている。殊に西アフリカにおいては、別稿（清水 2010a）で述べたシジェール¹のようにストリート・チルドレンの帰村を支援する NGO のネットワークが形成されるまでになり、少年たちは、彼らの出身地近くの都市だけでなく、国境を越え、西アフリカ諸都市のストリートに拡散し、都市の片隅に滞留している。

「ストリート・チルドレン」は、NGO などの諸援助機関によって、何らかの理由で家庭ないし、保護者の下を飛び出して「ストリート」で生活する少年少女のことである。すなわち、家庭、もしくは保護者と分断された少年少女のことである。少年たちの出奔の原因は、家庭問題であり、家庭の問題は、貧困や一夫多妻制などの悪習によるものとされる。しかし、本

* このワーキング・ペーパーは 2010 年 3 月 12 日から 14 日に開催された GCOE 主催シンポジウム「人間圏を解き明かす—人間の生存、人びとのつながり」での発表を元に執筆されたものである。

** 名古屋大学大学院文学研究科 博士後期課程 shimizujbfa@yahoo.co.jp

¹ CIJER, ストリートの少年と子どもに関わる連盟 Coalition des Intervenants auprès des Jeunes et Enfants vivant dans la Rue